



オオイタビ [大崖石榴]

5本の樹

常緑／つる類／木本植物／在来種



科名 クワ科 (APGⅢ)

特記 生長：速い、雌雄異株
草本扱い（保証の観点より）

葉は、幼木時の葉（幼葉）と成木時の葉（成葉）がある。幼木時は気根を伸ばして壁面に密着しながら生長する。生長すると大きな成葉を伸ばす。このため、壁面緑化植物として利用される。温暖地に自生する日陰に強い常緑つる植物。雌雄異株で、イチジク状の果実をつける。



Memo

イチジクの仲間の実は、イチジク状果または果囊（かのう）と呼ばれ、この中で花が咲き結実する。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期						■ (鑑賞には向かない)							
果 実										■			
紅 葉													
施 肥	(生長力旺盛なので施肥は控える)												
剪 定	(適宜剪定する)												

好みの環境					
日当り	陽	○	○	○	陰
土 壌	乾		○		湿
寒 さ	強		○		弱
暑 さ	強	○			弱
潮 風	強	○			弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
							○

ポイント


気根により、擁壁や石積に張り付くように登って行く。ほかの植物では生育しにくい場所に配植できる。土留や擁壁の緑化ができる反面、家屋などに登り出すと水切や外壁を痛めるので注意する。


剪定

幼木時に気根を伸ばし密着するので、不要なつるの剪定は気根が強く固着する前に適宜切除する必要がある。定着すると、旺盛に繁茂するので、生育範囲を設定して管理するとよい。

病虫害

病虫害は少ない。

呼べる鳥  [メジロ](#)

呼べる蝶  [イシガケチョウ](#)・ツマムラサキマダラ